

# 子供たちとの食育活動

農委会名：美里町農業委員会

## 1 地域の概要

本町は、熊本県のほぼ中央に位置しており、熊本市中心部より南東へ約30kmの距離にある自然豊かな地域である。

地形は山岳丘陵部が多く、総面積144.03km<sup>2</sup>の約4分の3を森林が占める典型的な中山間地域である。西部地区に一部平坦地がみられるが概して宅地や農地は少なく、住宅地等は地域を東西に横切る国道218号線をはじめとする主要道路に沿って点在し、農地もその大部分が丘陵地や傾斜地で、棚田等として利用されている。

## 2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 9人（うち、認定3人、女性1人）
- (2) 推進委員数 17人（うち、認定3人）
- (3) 事務局体制 3人（専任2人、兼任1人）

## 3 掲げた目標

＜地域における農業の継承＞

農業従事者の高齢化に伴い、離農や規模縮小が発生してきており地域担い手の確保が困難な状態になっている。

そのため、美里町の農地で農業を体験してもらい、1つのきっかけとして農業の重要性を学習してもらおう。

## 4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

美里町立中央小学校近くの農地で、イモ植え、イモ堀を農業委員会・中央小学校3年生で取り組んだ。

植え付けから草取り、収穫までを体験することにより、農業の難しさや大変さを理解してもらい食の大切さ、農業の重要性を学習してもらった。



## 5 取り組みの成果

農家数が減少していく中、このような活動を通し農作物の成長や草取りなどの大変さを経験することは、子ども達にとっても、地域にとってもとても良い取り組みになったと思われる。

また、収穫したサツマイモは、子ども達のお土産や学校給食の材料として提供できた。

## 6 課題と今後の方針等

農地の有効利用を推進する為に、農地集積・集約化が重要であり、農業委員及び農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局が協力し、積極的な活動を行うことにより、農地の有効利用を図っていく必要がある。